

は384人であり、定員数を20人削減し40人とする条例の改正である。

削減の効果としては、退職報奨金、公務災害の負担金や保険関係の掛け金が、定員数で負担されていることから、20人分の経費の削減が図られる。

実員数が384人であるのに、定員数を40人としたのは、今後の実員の増員を考え16人の幅をもたせ、今後は部の統廃合についての議論も検討するという説明があった。

●陳情第4号

私立高校への公費（私学助成）拡充で、学費と教育条件の私学格差是正を求める意見書の採択を求める陳情

■審査の結果

「賛成全員で採択すべきも

の決定」

毎年同趣旨の請願や陳情が出されているが、継続するというのではなく、毎年提出し取り上げられることが必要であり、年々助成

産業建設常任委員会報告

閉会中の委員会調査

平成19年7月20日

関光諸団体の現状と課題等についての意見交換会の開催について

全員で観光諸団体の現状と課題等についての意見交換会を開催

※出席者

- (1) 苗場観光協会・苗場旅館組合 出席者10名
- (2) 湯沢温泉旅館組合・湯沢温泉通り事業協同組

合 出席者11名

額が減額されてきている現状から、年一回問題提起をするということで、採択すべきであるという意見が出された。

※平成19年8月9日

7月20日に産業建設常任委員会は所管の観光問題について、苗場地区及び湯沢地区において各代表と意見交換会（勉強会）を開催いたしました。

その席上様々な意見・要望等が提出されたことから、委員会を開催して項目ごとに、委員会としての考えをまとめました。そのなかで、特に執行部に対しまして、申し入れが必要と決定したことについては、

「委員会より執行部への申し入れ」として申し入れを行いました。

閉会中の委員会審査

平成19年9月14日

●議案第51号

平成19年度下水道特別会計補正予算（第1号）について

■審査の結果

「全員賛成で可決すべき

ものと決定」

《説明要旨》

歳入歳出それぞれ3千204万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ10億5千800万2千円とする。

歳入

繰越金3千64万8千円、諸収入で浅貝水源用水路損失補償費140万円。

歳出

下水道施設改修基金積立



10月14日委員会開催